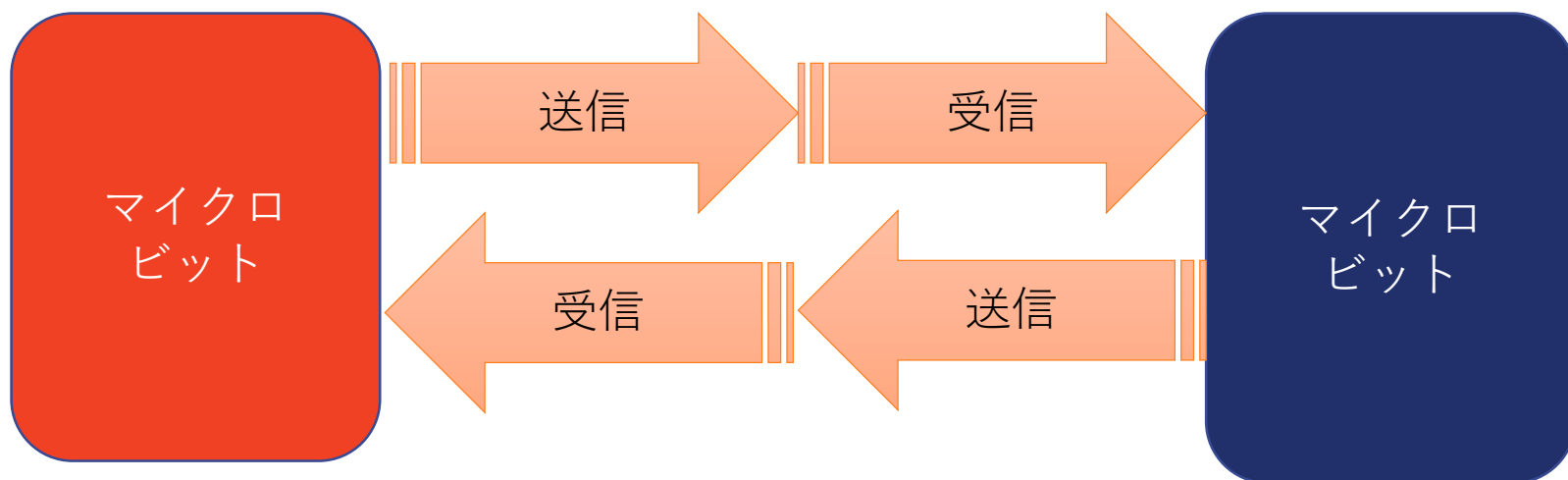


むせんつうしん  
無線通信

N P O 法人プログラミング教育研究所

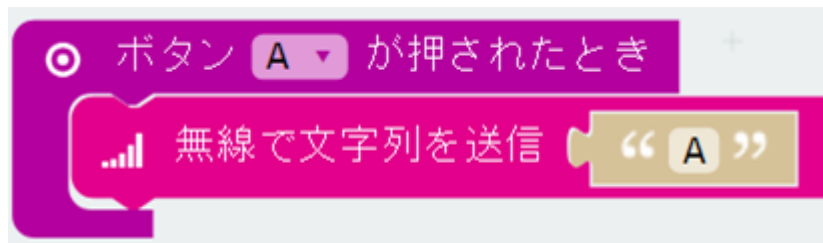
# 無線通信とは

- マイクロビット2台以上でデータを送り合う
  - 自分の送信は、相手の受信に、
  - 相手の送信は、自分の受信になる
- 混信を避けるため、グループの番号を決める

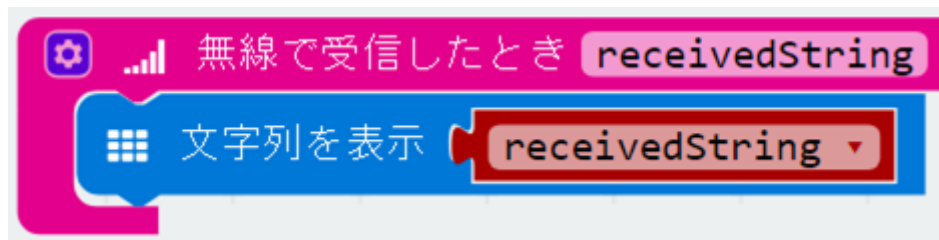


# 無線機

- ボタンが押されたら、文字を送信する



- 文字を受信したら、それを表示する



# サンプルプログラム

最初だけ

無線のグループを設定 1

グループごとにちがう番号にする

ボタン A が押されたとき

無線で文字列を送信 "A"

端子 P0 がタッチされたとき

無線で文字列を送信 "0"

ボタン B が押されたとき

無線で文字列を送信 "B"

端子 P1 がタッチされたとき

無線で文字列を送信 "1"

無線で受信したとき receivedString

文字列を表示 receivedString

# リモート明るさ計

- ボタンを押すと、通信相手のマイクロビットの明るさをグラフで表示する
- 端末1 : Aボタンが押されたら
- 端末1 : 「LIGHT?」を送信
- 端末2 : 「LIGHT?」を受信したら
- 端末2 : 明るさを「LIGHT」で送信
- 端末1 : 「LIGHT」を受信したら
- 端末1 : グラフ表示

# サンプル プログラム

最初だけ

無線のグループを設定 1

ボタン A が押されたとき

無線で文字列を送信 “ LIGHT? ”

無線で受信したとき name value

もし ( 文字列を比べる name と “ LIGHT? ” = 0

なら 無線で送信 “ LIGHT ” = 明るさ

でなければもし ( 文字列を比べる name と “ LIGHT ” = 0

なら plot bar graph of value up to 255